

(1) 2023年1月現在の病床機能等 と 2025年に向け検討している病床機能（案）

【現状（2023年1月時点）の病床機能等】

【2025年に向け検討している病床機能等】

病棟名	病床区分	病床機能	入院基本料・特定入院料	許可病床数	病棟名	病床区分	病床機能	入院基本料・特定入院料	許可病床数
東3階	一般	急性期	急性期一般入院料1 ※一般病床とコロナ病床の混合病棟	41床	東3階	一般	急性期	急性期一般入院料1	41床
西4階	一般	急性期	急性期一般入院料1	54床	西4階	一般	急性期	急性期一般入院料1	54床
西5階	一般	急性期	急性期一般入院料1	54床	西5階	一般	急性期	急性期一般入院料1	30床
						一般	回復期	地域包括ケア病棟入院管理料2	24床
東5階	一般	回復期	緩和ケア病棟入院料2	23床	東5階	一般	回復期	緩和ケア病棟入院料2	23床
HCU	一般	高度急性期	ハイケアユニット入院管理料1	4床	HCU	一般	高度急性期	ハイケアユニット入院管理料1	4床
東4階	一般	休棟中	地域包括ケア病棟入院料2	44床	東4階	一般	休棟予定	地域包括ケア病棟入院料2	23床
許可病床数合計				220床	許可病床数合計				199床

(2) 病床数の増減

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計
0床	-24床	24床	0床	-21床	-21床

(3) 病床機能の変更等の検討内容

現在当院では、新型コロナウイルス感染症対応病床を確保するため、東4階の地域包括ケア病棟を令和3年2月からと長期にわたり休止していますが、地域からは地域包括ケア病棟の再開を望む声が多く届いております。

しかし、コロナ収束以前に東4階の地域包括ケア病棟を再開することは人材不足のため困難であることから、西5階病棟の一部24床を地域包括ケア病床とすることを検討しています。ただし、病床単位での地域包括ケア病床を設置するためには病床数が200床未満であることが要件となるため、東4階を44床から23床の病棟とすることで当院の病床数を220床から199床とし、この東4階病棟は人材が確保できるまで休棟とします。

この23床の病棟の運営については、今後の感染症の動向を見ながら、地域包括ケア病棟としての再開や新興感染症への対応病棟など、弾力的な運用も視野に入れ、活用方法を検討したいと考えています。

※ 上記の内容は、現在検討中の今後の当院病床機能（案）の一案でありますことをご理解願います。